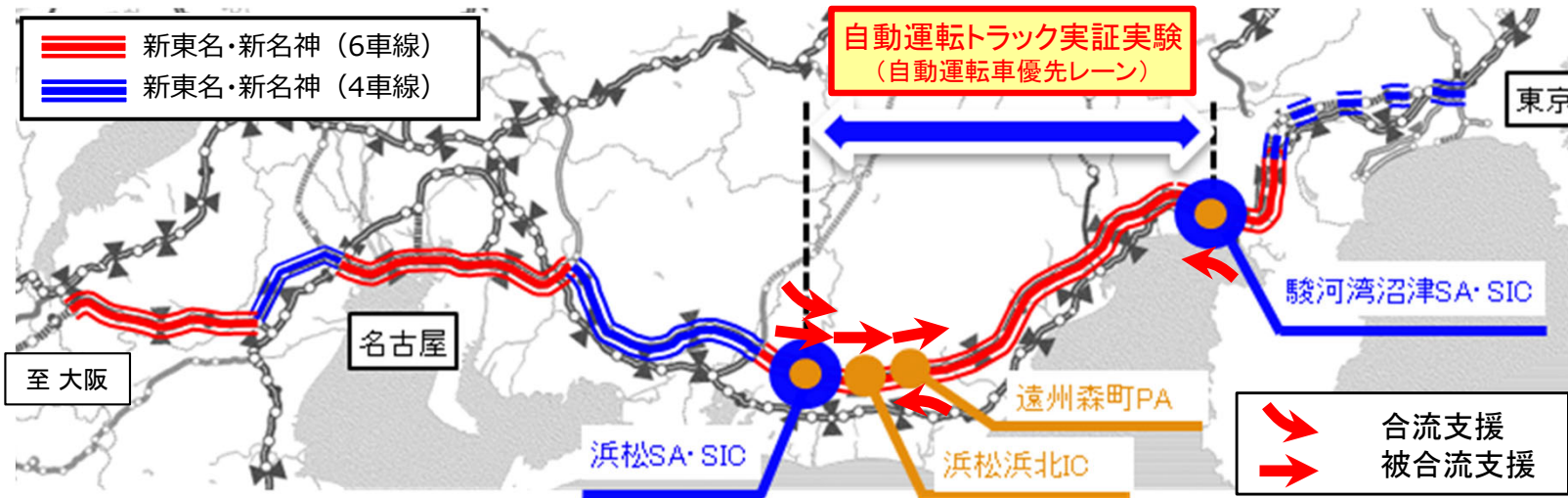


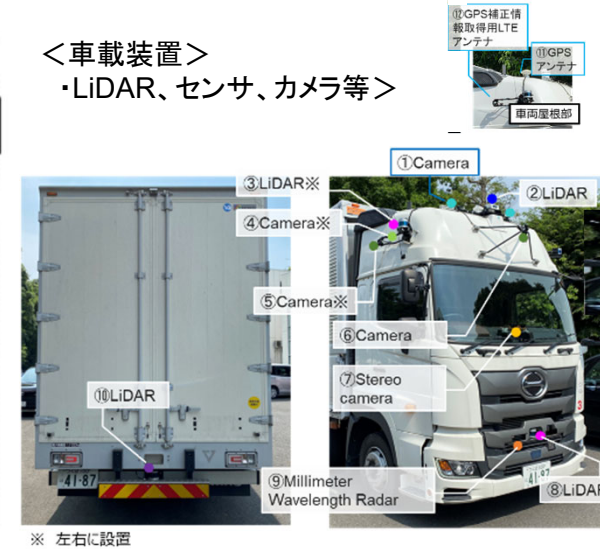
国土交通省道路局の取組み

新東名高速道路における自動運転トラック実証実験(トラック)

- 2025年3月3日から新東名高速道路(駿河湾沼津SA～浜松SA)に自動運転車優先レーンを設定し、車両開発と連携した路車協調(合流支援情報提供、先読み情報提供等)によるレベル4自動運転トラックの実現に向けた実証実験を実施。



＜車載装置＞
・LiDAR、センサ、カメラ等＞

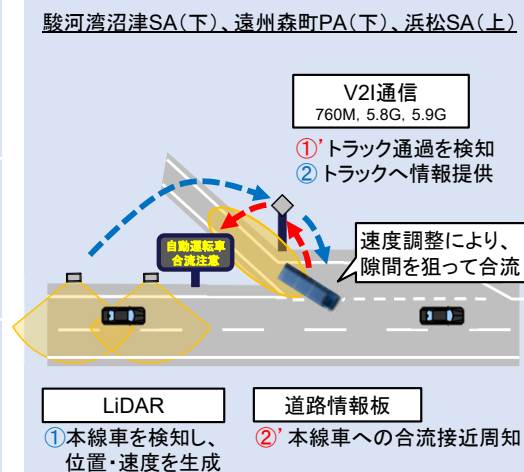


自動運転車優先レーン

区間	駿河湾沼津SA～浜松SA
専用・優先	優先レーン (第一通行帯)
時間帯	22:00～5:00 (土日祝日、特定日を除く)

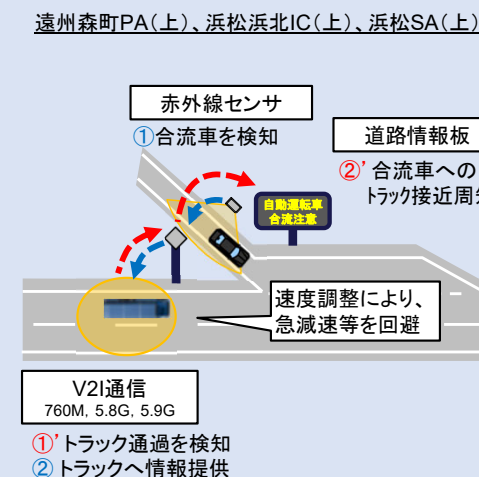
合流支援情報提供イメージ

自動運転トラックの本線合流を支援



被合流支援情報提供イメージ

他車両の本線合流を支援



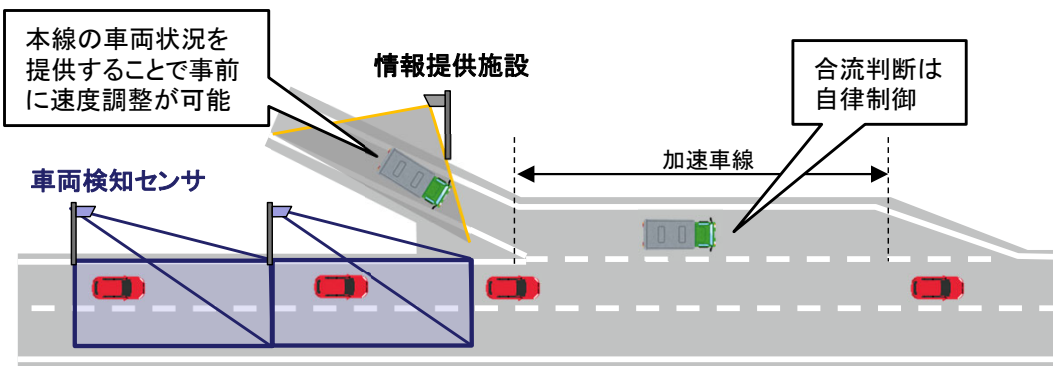
先読み情報提供イメージ



新東名高速道路における自動運転トラック実証実験

- 自動運転トラック実証に向け、ネクスコ中日本と連携し、インフラからの支援のための路側施設を整備。
- 2025年3月3日(月)より、新東名高速道路(駿河湾沼津SA～浜松SA)で深夜時間帯に自動運転車優先レーンを設定し、車両開発と連携した路車協調(合流支援情報提供、先読み情報提供等)によるレベル4自動運転トラックの実現に向けた実証実験を開始。

■ 合流支援情報提供システム

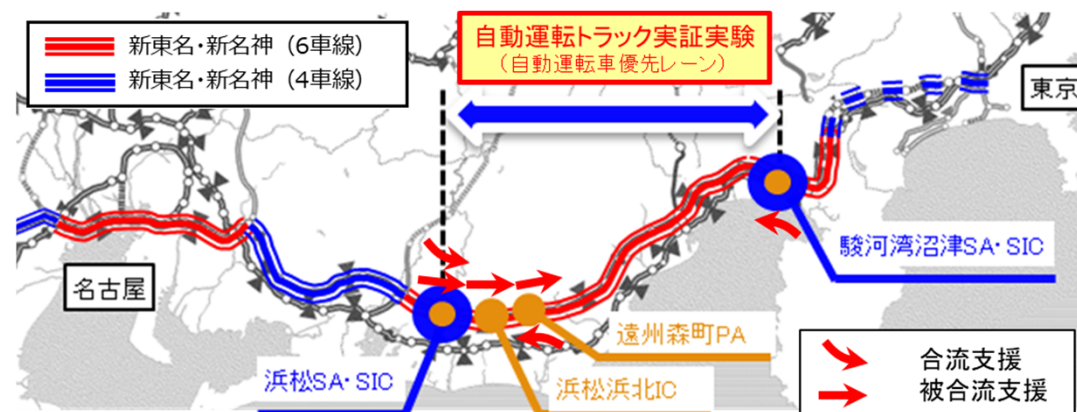


<情報提供施設>



<車両検知センサ>

■ 自動運転トラック実証実験



<情報板で実験中の周知>



<走行中の自動運転トラック>

新東名高速道路における自動運転トラック実証実験

合流支援情報提供システムによる実証実験の様子



経済産業省・国土交通省事業（RoAD to the L4テーマ3）提供

合流支援情報提供システムの受信イメージ



（株）T2提供

※実験の内容を理解しやすいようにイメージとして作成しており、
車内映像と受信イメージは一致していない。

今後の展開方針(案)

＜今後の自動運転サービス支援道(道路インフラ)の進め方＞

2024～

新東名高速道路(駿河湾沼津SA～浜松SA)

〔 比較的、難易度が低い区間で有効性の検証 〕

2025～

東北自動車道(佐野SA～大谷PA)

〔 より厳しい環境での実証、先読み情報の高度化 等 〕

2026～

多様な道路環境での検証

自動運転サービス支援道における道路インフラに必要な各種基準等・パッケージ※の作成

自動運転トラックの普及状況や技術開発状況を踏まえ、
自動運転サービス支援道(道路インフラ)の実装(全国展開)

実証実験や交通シミュレーション等による検証

検討を要する事項

- ・費用負担の在り方
- ・L4未満の乗用車への適用可能性
- ・道路管理者としての関わり方
- ・データ連携
- ・物流体系(拠点含む)との関係

※パッケージ:道路環境等に応じて必要となる支援機能等をまとめたもの